

令和6年度 第2回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事概要	
日時:令和7年3月21日(金) 10:00~11:30 場所:国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 3階 会議室	
要 旨	<p>(1) 岡山県道路交通渋滞対策部会規約の改定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WISENET2050 の実現に向けた体制構築 <p>(2) データによる観光地の交通渋滞の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度ゴールデンウィークの交通状況 ・ 国道482号(真庭市)における渋滞要因分析 ・ 県道96号等(和気町)における渋滞要因分析 <p>(3) その他観光地における渋滞対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倉敷美観地区における渋滞対策 ・ 高松稲荷交差点のTDM
事務局	(1) 岡山県道路交通渋滞対策部会規約の改定、(2) データによる観光地の交通渋滞の把握について説明
岡山県トラック協会	国道53号を対象に検討を進めるとのことだが、選定理由は、国道53号は代替ルートがないためという認識で良いか。
事務局	国道53号の代替ルートがないことを想定して実施するものではなく、国道53号は現道に速度サービスの課題があると認識しており、今後具体的にどのような課題があるかを確認していきたいため、検討を進めたいと考えている。
岡山県トラック協会	了解した。結局は高速を降りた後、岡山市街地が混雑していると思う。有識者も含めて議論していくことで資料内容についても賛成する。
津山市	国道53号に関して、本市と岡山市・久米南町・美咲町・奈義町にて「国道53号グレードアップ委員会」を立ち上げており、地域の魅力づくり推進等について取り組んでいる。今回は、道路の使われ方に問題があるのではないかとのことだが、地域の方からも様々な声を得ているため、その内容について事務局と共有しながら実施していければ良いと考えている。
事務局	検討会において、各自治体については現状オブザーバーとしているところもあるが、必要に応じて適宜変更していくことも考えているので、柔軟に対応していく予定である。
会長	特に異論等無いようなので、検討会の立ち上げについては了承された。検討会の開催に向けては適宜事務局の方で調整されたい。
一同	異存なし。
岡山県土木部道路建設課	<p>p.15では北向きの交通量が多いという結果が出ているが、p.13では速度の低下が見られていないようである。これは往路ではなく復路で混雑している傾向があると感じた。このようなデータを地元施設側等にも提供すれば、帰る時間の分散に向けた対策も検討いただける可能性があるのではないかと。また、道路の改良が必要な場合も適宜相談の上検討したい。</p> <p>和気町については、藤公園まで1車線のみ道路がある。普段は問題ないと感じるが、観光時期には大型バス等が通ることによって混雑するというような理由があれば適宜情報提供いただければ、道路改良も検討したい。</p>
事務局	ご指摘の通り、帰宅時の分散などの対策も重要だと思うので、参考にしたい。和気町については、和気町から周辺の臨時駐車場の提供も進めていると伺っているので、適宜調整したい。 (次頁に続く)

中国地方整備局	観光地におけるオーバーツーリズムに関する渋滞対策については、全国的な課題となっており、ハード・ソフト両面で地域と連携しながら実施していくことになる。また、地域の実情にあった対策検討が重要であり、地域連携した対策検討を行っていただきたい。定量的な面であればETC2.0プローブによる分析で国側の支援として協力可能である。
事務局	(3) その他の観光地における渋滞対策について説明
倉敷市	本市では、倉敷美観地区周辺での交通渋滞への対応として、中央駐車場の入庫待ちの車に、別の市営駐車場を利用してもらうよう、職員が直接呼びかけを行っている。また、市営駐車場のうち中央駐車場では、駐車料金の上限を撤廃したことで、周辺の宿泊施設が紹介する駐車場の候補から中央駐車場が外れたことも、渋滞緩和につながったと考えている。今後も、市としてできることは何でもやっていきたい。
会長	資料の中にも、倉敷市の実施内容も入れ込めると良いと感じた。
岡山県土木部道路建設課	岡山国道事務所が実施しているX、Instagramについて、倉敷美観地区に訪れる方が見られるのか。例えば美観地区の施設等のアカウントでシェアいただくなどの工夫を行っても良いかと感じた。
岡山県タクシー協会	最上稲荷のように、倉敷についても公共交通の利用促進という手はないのか。
事務局	駐車場の混雑緩和という観点から進めていたが、今後は公共交通の利用促進も含めて検討していきたい。
倉敷市	本市では、公共交通の利用促進に向けた取組として、連休中にイベントを開催する主催者に対して、公共交通利用の案内提供を依頼している。また、市内の路線バス・水島臨海鉄道の無料デーを、年に4～6回実施し、これまで公共交通を利用していない方が利用するきっかけづくりを行ったことで、公共交通を利用しようという意識改革が定着しつつあるのではないかと考えている。今後も、引き続き、取組を進めていきたい。
岡山県トラック協会	公共交通の利用促進と関係があるかもしれないが、市外から来る方は、実は倉敷駅から美観地区が近いことを知らない可能性があるのではないかと考える。倉敷駅から美観地区は徒歩圏内であること伝えることも渋滞緩和につながるのではないかと考える。
会長	本日は、様々な視点からの意見を頂いた。倉敷美観地区における公共交通の利用促進については、本日出席の皆様が持つ様々な媒体を使って実施していければと思う。事務局においては、本日得た意見を踏まえ、引き続き検討していただきたい。

(以上)